

令和5年10月26日

保護者の皆さまへ

吹田市立佐井寺中学校  
校長 山口 廣治

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「令和5年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と数学、英語に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図って参ります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに今後の家庭学習の指針として、参考にして頂きますようお願い致します。

### 1 教科に関する調査結果の分析

#### ●国語科《概要》

- <話すこと・聞くこと> … 全国値とほぼ同じ。
- <書くこと> … 全国値とほぼ同じ。
- <読むこと> … 全国値をやや上回る。

#### ●国語における成果と今後の改善点について

今年度<読むこと>において全国平均をやや上回る結果となりました。「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる」という趣旨の問題に関して、全国値を上回る結果となりました。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」でも、漢字・言語に関する知識の定着への取り組みの成果が見られました。

しかし、「聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題」や、「話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる問題」が全国値をやや下回る結果

となりました。

このことから、今後「読むこと」に関しては今までの取り組みを継続していき、「話すこと・聞くこと」の領域において、情報を捉え、目的に沿って自分の考えを表現できるような取り組みを展開していきたいと考えます。

### ●数学科《概要》

- 〈数と式〉 … 全国値をやや上回る。
- 〈図形〉 … 全国値を上回る。
- 〈関数〉 … 全国値をやや上回る
- 〈データの活用〉 … 全国値をやや下回る

### ●数学における成果と今後の改善点について

正答率においては、ほとんどの問題で全国平均をやや上回っています。しかし、「データの活用」において、全国平均をやや下回る結果になりました。

「四分位範囲の意味を理解しているかをみる問題」では、正答率が全国平均を下回り、約半分の生徒しか正解していませんでした。

このことから、今後の授業では、計算等の技能の習得に終始することなく、既習事項との関連や実生活へのデータの活用を意識した指導を進めてまいります。答えを出すだけではなく、そこに至る思考の過程を他者に伝える、という活動を多く取り入れた授業を研究していきたいと思っております。

### ●英語

- 〈聞くこと〉 …全国値とほぼ同じ。
- 〈読むこと〉 …全国値を上回る。
- 〈書くこと〉 …全国値を上回る。

### ●英語における成果と今後の改善点について

「書くこと」において、疑問文や、未来表現の肯定文を書く問題は全国平均を上回る結果となりました。「聞くこと」において、情報を正確に聞き取ることができる問題の正答率がやや下回っていました。

「1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。」という質問に対して、「当てはまる。」と答えた生徒が、全国平均よりも大きく上回っていました。

このことから、今後「書くこと」「話すこと」に関しては今までの取り組みを

継続していき、「聞くこと」の領域において、情報を正しく聞き捉えられるような取り組みを展開していきたいと考えます。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして、解決方法を決めているか。」「人の役に立つ人間になりたいと思うか。」「人が困っているときは、進んで助けているか。」という項目では、肯定的な回答が、昨年度より上回っていました。このことから、困っている人の役に立ちたいと考えている生徒の割合が多くなっていることがわかりました。一方、「自分と違う意見について考えるのは楽しいですか」という項目では全国平均を下回っていました。人の役に立ちたいと思っているが、自分と違う視点で考える事が苦手ということもわかりました。

「自分で計画を立てて勉強をしているか」、「学校の授業時間以外に、普段一日当たりどれくらいの時間勉強するか」「読書をするか」という質問に対して、「全くしない。」という生徒が、全国平均より上回っています。また、「新聞を読んでいますか」という項目では、85%近い生徒が「ほとんど、または、全く読まない」と全国平均よりも多かったです。

## 3 今後の取り組み

今年も本校の生徒の学力については概ね良好な状態であると考えています。教科の学習に関して、まじめに取り組んでいる佐井中生の姿が垣間見えます。自分の意見や考えを構築し、論理的に記述・表現し、交流することにより、自分と同じ意見だけでなく、違う意見も受け止められるような取り組みを展開していきたいと考えます。

一方、「計画を立てて勉強する」や、「読書をする」といった面で課題が見受けられるため、主体的に学ぶ姿勢を身に着けられるように、学校全体で研究を進めていきます。

生徒の真面目で、一生懸命に取り組む姿勢を認め、生徒の良い部分を伸ばしながら、一社会人として互いを思いやれるよう今後も教育活動を行っていきます。これからの時代に求められている主体的に学ぶ姿勢、人生や社会に生かせる力を養うためには、保護者・地域との連携・協働が不可欠となります。学校と保護者・地域が「目標やビジョン」を共有し、社会総掛かりで子どもたちを育てることが求められています。

今後とも佐井寺中学校の教育活動にご理解・ご協力の程、宜しくお願い致します。